

院長のひとりごと2

テーマ「自己実現」

今週、久しぶりにニューヨークへ研修旅行に行ってきました。三年目の医師五人を中心に総勢九名です。今回は案外、海外経験者が少なく、期待と不安が入り混じっているようです。新入職員と同じですね。新しいこと、まだ見たこともないことをするときには、緊張感があります。マズローさんという学者が、「自己実現のための要求こそ一番ストレス度が高い」と定義しています。ただ現実には、ニューヨークで何をするとしたら、着いてしまえば、食べて飲んで寝てという一番ストレスのないことをします。(どこで何を食べるか決める私にはストレスですが。)そこで彼らは新しい見聞を広めるという比較的ストレスの低いことに楽しみを以って行います。そういう多くの見聞、経験のもと、今後自分が行うであろう自己実現のための高い目標を見つけていくための研修旅行ということでしょう。また楽しいことを共に経験した仲間との連帯感、達成感、責任感をも身につけ、さらにそのことを多くの後輩に伝えてほしいものです。

当院は福岡水巻看護助産学校を併設しています。最近の様々な社会情勢の影響もあり、北九州地区では看護学校が減ってきています。当院は学校を併設しているから看護師募集が楽であろうと思われるかもしれませんが、なかなかそうではありません。学校へは当院の職員が多く講義に行っており、かなりの負担です。また実習も受けており、これも負担という意味では結構なものになります。これにさらにリハビリ、薬剤師、放射線技師、医療事務、栄養士などの実習も受けており、負担と言えば確かに大変です。しかし彼らの教育は将来の同僚を育てるのだという思いがあればこそできます。アットホームな雰囲気家族の一員として育むのです。残念ながら他病院へ就職したとしても日本の医療のためと思えば十分報われる仕事です。でもたくさん就職してくれたら先輩たちももっと嬉しいな！

平成二四年六月五日 藤井茂

第3章

